

社内研修

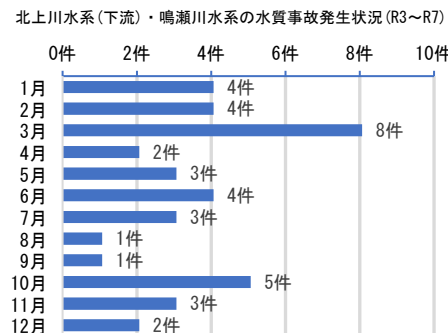
北上川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会 令和8年度 水質事故対応講習会

今回は、涌谷地区河川防災ステーションにおいて開催された「令和8年度水質事故対応講習会」に、弊社の社員が参加いたしました。
河川や湖沼に油類等が流出する水質事故に備えるため、油流出事故発生時の対応について学んでまいりましたので、その様子をお伝えいたします。



R3～R7年の北上川水系(下流)・鳴瀬川水系での**水質事故は40件**発生しています。そのうち、事故の**種別は「油類」が92.5%**を占めており、**原因は操作ミスが多く**、年間を通して事故が発生しています。

日常業務でガソリンを使用する作業が多い弊社も流出リスクと隣り合わせにあります。本講習会では、このリスクを再認識し、水質事故発生時に現場での被害を最小限に抑えるための、迅速な対応を学ぶため今回の講習会に参加いたしました。



【40件／5年(R3～R7)】

出典:国交省 東北地方整備局主催
「令和8年度 水質事故対応講習会」配布資料より作成

油流出事故対策講習の様子

油処理について



油種ごとに拡散状態の説明



油処理剤を使用し分散状態の説明

河川に流出した油は、**水と中和しない**ため水に浮きます。油種によって油膜の拡散状態も異なり、界面活性剤等の油処理剤は油を乳化・分散させるだけで完全に回収することはできないため、**油を回収・処理**することが油流出事故ではとても重要です。講習会では、3つの油回収方法の訓練を行いました。

① 道路上(床面)等での油回収方法

油吸着材を使用



実践講習の様子



油吸着材を混ぜて回収

油がある場所の下手に土手を作り、**油に路面用油吸着材を撒いて**ブラシで大きく混ぜ、馴染ませて回収する。回収した油は**産業廃棄物として処分**する。

② 側溝での油回収方法

土のうで堰き止め



弊社の社員も参加しました！



側溝での事故対応

水路や側溝では**土のうを積んで水を堰き止め**、間に水を通す排水パイプを挟む。油が下流へ拡散することを防ぎながら、**浮上する油を吸着マットで回収**する。

③ 小河川での油回収方法

オイルフェンスの設置



オイルフェンスの説明



オイルフェンスの展張実践

河川では**オイルフェンスを使用し流下拡散を防止**する。起点は下流から上流に、斜め45度を目安にオイルフェンス引き上げ固定する。オイルフェンスの端を土のうで押さえ、**上流側に油を集めて吸着マットで回収**する。

今回の講習会を通じて、油流出時の**迅速な対応と状況に応じた回収方法**についてさらに理解が深まりました。水質事故が発生した場合に備え、今後も日頃の**社内訓練**を通じ、より迅速な対応ができるよう周知してまいります。